



きらめき 串小野っ子

(校訓)
よく考え、
明るくすなおで、
がんばる子

令和3年度12月号
串小野小学校学校便り
令和3年12月21日発行



「自律」を育む

～ もうすぐ冬休み、親子で語り合う時間を ～



校長 藤山 洋一

早いもので今年も終わろうとしています。令和3年をふり返ってみますと、「あれはダメ、それもできない。大声を出さずに、友だちとは距離を取って、マスクして・・・」等々、エネルギーがあふれている子どもたちにとっては苦痛でしかない数々のブレーキをかけざるを得ない1年だったような気がします。そのような中でも、子どもたちは頑張りました。さまざまな分野で例年以上に多くの賞もいただき、子どもたちの個性にたくさんの光が当てられたような気がします。勉強の方も頑張りました。特に高学年になると、学びに向かう情意面の高まりが見られるようになりました。子どもたちの「串小プライド」をたくさん見せてもらえた1年でした。誠心誠意指導して下さった先生方、そして、何かと制限がある中で、知恵と工夫を出し合い、多くの時間を割いてくださり、子どもたちの教育活動の充実のためにご支援・ご協力くださいました保護者や地域の皆様にも心から感謝申し上げます。

ところで、今年をふり返るとき、私は少し気になることがあります。それは子どもたちの表情や言葉に感じたのです。コロナ禍で子どもたちのストレスも溜まっているのだろうとは想像するのですが、何か釈然としない違和感を、校長室にやってくる子どもたちの言動に感じたのです。この1年、いったい何人の子どもが来室したかは分かりませんが、ある日のこと男子児童は入室するなり、「何となく頭の中がもやもやして考えがまとまりません」と切り出したのです。担任からの報告でその子が最近教室で荒れているということを知っていた私は、なぜもやもやするのかが気になりながらも、彼の吐き出す不安をただひたすら聞き続けました。後々分かったのですが、所属するスポーツクラブの人間関係に長い間苦しみを続けていたようです。又、しばらく学校を休みがちだった別の女子児童は、大きなため息をつきながら「疲れました」とつぶやき、何をするでもなくしばらく椅子にこしかけていました。私は来室の理由も聞かずに「そうだね、本当に毎日疲れるよね。」とため息をついてみせると女の子は、「じゃ、また来ます」と何事もなかったかのように退室していきました。おそらく時々の休憩室なのだろうと私なりに解釈しながら、その子の出席状況の確認と表情の観察だけは毎日欠かさず続けているのです。

子どもたちは、子どもたちなりの葛藤や苦悩を抱えながら日々成長しています。そして、私はその成長の過程にこそ「自律」を育てるチャンスがあると思うのです。「自律」は言い換えますと文字通りセルフコントロールです。自身の思いや感情を、状況に応じてセルフコントロールしながら、よりよく生きる道を模索し続ける子どもたち、その子どもたちに大人の物差しで見た性急な結論や説教は、彼らの表現を借りると「うざい」となるのが落ちです。瞬時に聴覚シャッターが下ろされます。ですから私はとにかく聞くことを最優先し、時折私自身の主観的な感想ワードのみをぼそっと呟くことにしています。そうしますと子どもたちは再び自分で悩み考え出します。悩み考えることを繰り返えず過程で、子どもの「自律」が育っていくのだと思うからです。「自律」は私の学校経営の基軸にしている言葉の一つです。

前述の男子児童は、所属していたスポーツクラブをやめる決断をしたそうです。「履く靴はきつ過ぎても、緩すぎても歩きにくいよ。前に進むために君にちょうど靴があるはず。いい決断だったかもしれないね。」今度来室したらそんな声をかけてみようと思っています。

もうすぐ冬休みです。子どもの話を聞いてあげる時間を少しでもつくれたらいいですね。(裏面へ続く)

学校支援ボランティア

5年生は家庭科でミシンを使ってエプロン制作に取り組みました。そこで、ミシンの扱いに慣れた地域の皆様に、学校支援ボランティアとしてエプロン作りのお手伝いに来ていただきました。

困ったときに優しくアドバイスしていただき、エプロンの完成が近づいてきました。



大切な時間

私とお母さんには、毎日ティータムという時間があります。ケンカをしても、テスト期間でも毎日十時ぐらいになると一階から「ティータムするよ。」というお母さんの声がします。お母さんはお茶を飲みながら、楽しい話や悲しい話をしたり、聞いたりしてくれます。

中学生になってからの私は、小学生の頃よりたくさん悩むようになり、いっつもお母さんに相談します。いろんな友達よりも一番お母さんが私のことを理解して、たくさんのお言葉をかけてくれます。私たちのお茶にはいろいろな味がありません。大人になってからはできないこの瞬間を今は大切にしていきたいです。

鹿児島市の中学生が書いた文章です。家庭でこんな親子の時間が持てたらすてきですね。

ア・ク・ア交流

11月26日に旭小・荒川小の5・6年生児童を招いて交流会を開催しました。いつもは少人数で学んでいる両校の児童ですが、この日は数名ずつ各教室に入って大勢での学習を経験しました。最初の対面時は緊張感もあったかもしれませんが、笑顔で交流学習を楽しんでいました。

串木野西中に進学する児童にとっては、やがて同じ教室で学ぶ友達です。「また会おうね」再会を約束していました。



持久走大会

校内持久走大会が12月1日に開催されました。校内を周回するコースで、大勢の保護者の見守る中、力走しました。応援の声や見守る視線を感じて励みになったことと思います。長い距離を走りますので、タイムだけでなく、個別に目標を設定して大会に臨んだ子どもたちでした。

本番に向けて多くの子供たちが朝の体力づくりに励んでいました。これからの寒い時期も体力アップに取り組む姿を期待しています。



串小プライド 受賞おめでとう

◇鹿児島地域植樹祭テーマ 最優秀賞

5の3 森山 佳音

◇英語検定合格

5の3 北菌 隼也(4級) 6の1 藤田 凜(4級)
6の3 内田 智康(4級) 5の2 石野 悠人(5級)
6の2 吉武 慈珠(5級)

◇JA共済ポスターコンクール

銅賞 5の2 岩切 柚羽

◇県児童生徒作文コンクール

◎特選 5の2 有馬 優里
◎入選 1の3 岡元 小春
◎入選 5の1 南新 唯斗

◇税に関する絵はがきコンクール【優秀賞】

5の1 国料 咲希 5の2 福ヶ野 悠希
5の2 津村 紗花 5の2 年永 芽来
5の2 有馬 優里 5の3 丸尾 愛花
5の3 北菌 隼也

◇ビブリオバトル大会 串木野小代表

5の3 丸尾 愛花
12月27日(月)9:30~ いちきアクアホール

◇トンボロ芸術村絵画展 奨励賞

6の2 西田 桜瑚

◇かわなべ青の俳句大会

◎特選 5の1 畠中 波美
◎入選 6の1 山崎 美波

今月も多くの入賞者を紹介しました。子供たちの努力の証ですね。

乗り入れ授業

小中一貫教育の行事として6年生は串木野中と串木野西中に行って授業を受けました。中学校の先生による国語や数学、家庭科、理科の学習を他校の児童と共に体験しました。先輩の中学生も参加し、学習を手伝ってくれました。入学を前に貴重な体験ができました。



1月行事予定 (変更される場合があります)

- 11日(火) 3学期始業式
- 18日(火) 5年生 鹿児島学習定着度調査 国・理和楽器を楽しもう (4年生 学校支援ボランティア)
- 19日(水) 5年生 鹿児島学習定着度調査 社・算
- 20日(木) 5年生 鹿児島学習定着度調査 質問紙
- 20日(木) 6年生学級PTA 縄跳び大会6年
- 21日(金) 縄跳び大会3年
- 24日(月) 縄跳び大会2年
- 25日(火) 縄跳び大会1年 クラブ活動
- 26日(水) 縄跳び大会4年
- 27日(木) 縄跳び大会5年
- 28日(金) 幼保小連絡会

よい年をお迎えください。

